

News Flash

## 貯蔵建屋工事の進捗状況 <3月14日現在 進捗率:87%>

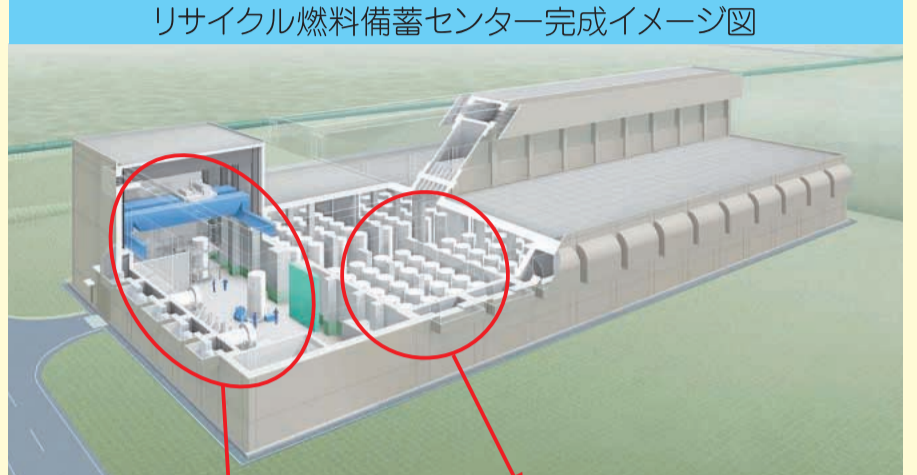
リサイクル燃料備蓄センターの貯蔵建屋工事は順調に進んでおり、3月14日現在の進捗率は87%となっております。

現在の主な工事内容としては、貯蔵建屋の外壁工事、屋根工事、建屋内部の機器の据付工事を進めており、建屋の外壁については、一部完成しております。

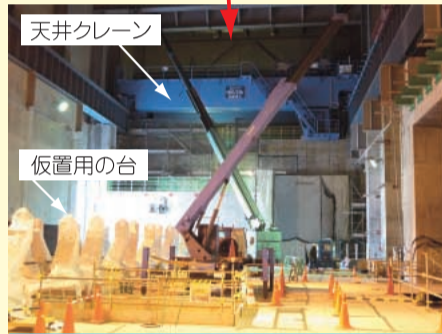
今後も、継続して上記工事に取り組み、本年8月頃には貯蔵建屋の完成を目指しております。

これからも、安全を最優先に1つ1つ着実に工事に取り組んでまいります。

リサイクル燃料備蓄センター完成イメージ図



貯蔵建屋建設状況(平成25年3月)



天井クレーン

仮置用の台

受入れ区域工事状況(平成25年3月)



貯蔵スペース

貯蔵区域の一部(平成25年3月)

(受入れ区域とは?)

キャスクを搬入し、検査等を行なう区域になります。

キャスクは、専用運搬車両により受入れ区域に搬入され、天井クレーンにより仮置用の台に移動します。その後、検査場所へと運ばれ、キャスクの外観検査などが行なわれます。

(貯蔵区域とは?)

検査に合格したキャスクが貯蔵される区域です。

検査に合格したキャスクは、貯蔵区域の所定の位置に運ばれ、貯蔵用の台を用いてしっかりと床面にボルトで固定され、貯蔵開始となります。

## 事業運営に係る至近の届出情報について

### ①貯蔵計画の届出を行っております

1月31日に平成25年度から平成27年度までの3年間の貯蔵計画を国に届出を行っております。

具体的には、下記の通り受入れを行ないます。受入れ先はすべて東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所です。

年度	受入れキャスク(基数)	ウランの量(トン)*
平成25年度	1	12
平成26年度	2	24
平成27年度	7	84

\*現在、建設中の建屋で最大3,000トン貯蔵可能です。

### ②原子力事業者防災業務計画の届出を行っております

3月18日に原子力事業者防災業務計画を青森県知事及びむつ市長との協議を経て国に届出を行っております。

<原子力事業者防災業務計画とは?>

原子力災害対策特別措置法に基づき、原子力災害発生時の防災対策が迅速かつ的確に実施できるよう、非常事態発生時における関係機関への通報、防災組織の設置等について、具体的な実施内容を示すものです。

<計画の主な内容>

- ①原子力事業者防災業務計画の定義、運用などについて
- ②原子力防災体制、防災組織の運営、関係機関との連携などについて
- ③緊急事態発生時の通報、退避誘導、拡大防止対策などについて
- ④緊急事態解除宣言後の復旧対策、広報や環境放射線モニタリング活動のための原子力防災要員の派遣などについて
- ⑤他の原子力事業所への協力について

## 第8回RFS杯ママさんバレーボール大会開催

2月3日(日)に第8回RFS杯ママさんバレーボール大会をむつ市バレーボール協会のご協力を得て、むつ市民体育館で開催しました。

当日は、むつ市、風間浦村、東通村から強豪6チーム、70名の皆様にご参加いただき、厳しい寒さにも負けず、熱戦が繰り広げられました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

来年も  
皆様の参加を  
お待ちしております!!



試合風景



優勝 東通エンジェルス



準優勝 むつクラブ